

液状化現象 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2021年11月15日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	16	1行目	図 2.24 参照	図 2.22 参照
1	19	2行目	…液体状となった水の単位体積重量より…	…液体状となった土の単位体積重量より…
1	28	下から 3行目	…たとえば, 図 2.31 に示した…	…たとえば, 図 2.32 に示した…
1	31	16行目	図 2.32 を見ると, …	図 2.33 を見ると, …
1	35	図 2.39 左	G L-77m	G L-73m
1	47	式(3.5) 下の式	$\varepsilon_v = \varepsilon_x + \varepsilon_v + \varepsilon_z$	$\varepsilon_v = \varepsilon_x + \varepsilon_y + \varepsilon_z$
1	50	式(3.14)	$e = -C_s \log_{10} \sigma'_m$	$e = e_1 - C_s \log_{10} \sigma'_m$
1	50	式(3.15)	$\frac{de}{d\sigma'_m} = -\frac{C_s}{\sigma'_m \log 10}$	$\frac{de}{d\sigma'_m} = -\frac{C_s}{\sigma'_m \ln 10}$
1	51	7行目	…次に図(b)中に●で示した2点を通り, …	…次に図(a)中に●で示した2点を通り, …
1	56	式(3.27)	$\phi = \min \left\{ 1.85 \left(\frac{N}{\sigma'_v / 98 + 0.7} \right)^{0.6} + 26, 0.5N + 24 \right\}$	$\phi = \min \left\{ 1.85 \left(\frac{N}{\sigma'_v + 0.7} \right)^{0.6} + 26, 0.5N + 24 \right\}$
1	60	7行目	…これに $\sigma_x = \sigma_a, \sigma_y = \sigma_r, \tau_{xy} = 0$ を代入すると, …	…これに $\sigma_x = \sigma_r, \sigma_y = \sigma_r, \tau_{xy} = 0$ を代入すると, …
1	61	8行目	…同時に拘束圧も増えている. …	…同時に平均応力も増えている. …
1	61	14行目	…圧縮側と引張り側で非対称になる.	…圧縮側と伸張側で非対称になる.

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	67	図 3.17(b) 下	$D_r = 21 \sqrt{\frac{N}{\sigma'_c / 100 + 70}}$	$D_r = 21 \sqrt{\frac{N}{\sigma'_c / 100 + 0.7}}$
1	74	下から 15 行目	…おおむねひずみが 15～20%以下…	…おおむねひずみが 5～20%以下…
1	80	下から 2 行目	…これについては後で図 5.9 に示すが、 …	…これについては後で図 5.10 に示すが、 …
1	91	下から 11 行目	…後で図 5.9 に示すように、 …	…後で図 5.10 に示すように、 …
1	93	図 4.17	右図へ差し替え	
1	97	式(4.9)	$a \log \left(\frac{\tau_d}{\sigma'_c} \right) + b \log N = \log c$	$a \log \left(\frac{\tau_d}{\sigma'_c} \right) + b \log N_c = \log c$
1	108	4 行目	…(5.3.4 項参照)…	…(4.7 節参照)…
1	126	下から 2 行目	…ニュートン流程的挙動…	…ニュートン流体的挙動…
1	128	式(4.36)	$\sigma'_m = \frac{e^{\varepsilon_v/c} - 1}{e^{\varepsilon_{v0}/c} - 1}$	$\frac{\sigma'_m}{\sigma'_{m0}} = \frac{e^{\varepsilon_v/c} - 1}{e^{\varepsilon_{v0}/c} - 1}$
1	129	5 行目	… $e - \log \sigma'_m$ 平面上で直線になるという関係が得られ、 …	… e と $\log \sigma'_m$ の関係は直線になり、 …
1	129	13 行目	…過剰間隙消散時の…	…過剰間隙水圧消散時の…
1	129	下から 8 行目	…体積ひずみが 0 にならないように…	…体積ひずみが無限大にならないように…

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	133	10 行目	Darcy の法則は、土粒子の間を…	Darcy の法則は、 間隙水 が土粒子の間を…
1	133	式(4.45)	$v = ki^m$	$v = -ki^m$
1	134	表 4.6	成層があまり明瞭でない	成層があまり明瞭でない 砂質地盤
1	137	下から 4 行目	$h_w = \frac{\varepsilon_v h}{n/S_r}$	$h_w = \frac{\varepsilon_v h}{n(1-S_r)}$
1	138	下から 12 行目	…せん断強度が残留強度より低下すると…	…せん断強度が せん断応力 より低下すると…
1	143	4 行目	…過剰間隙水圧は極端に小さくはならないが…	… 有効拘束圧 は極端に小さくはならないが…
1	154	参考文献 83)	小関浩：洪積砂地盤の液状化強度測定事例，…	尾関浩：洪積砂地盤の液状化強度測定事例，…
1	165	8 行目	… r_d は卓越周期が 0.2～1.64 秒の六つの…	… r_d は卓越周期が 0.2～ 1.04 秒の六つの…
1	168	9 行目	…なお，図 5.3(b)に…	…なお，図 5.4 (b)に…
1	180	14 行目	…変換係数は振幅を図 5.19 の縦軸に対する…	…変換係数は振幅を図 5.20 の縦軸に対する…
1	186	表 5.6	$0.1F_c$	$0.1F_c + 4$
1	194	下から 15 行目	…(たとえば，図 2.41)，…	…(たとえば，図 2.39)，…
1	206	10～11 行目	…補正係数 K_σ は有効交際圧が 100kPa 以上について…	…補正係数 K_σ は有効 拘束圧 が 100kPa 以上について…
1	208	7 行目	…増幅に（増幅比）に関する経路式を用いる方法で，…	…増幅（増幅比）に関する 経験式 を用いる方法で，…
1	219	4 行目	…液状化指数 P_L （式（6.1）参照）の…	…液状化指数 P_L （式（ 6.14 ）参照）の…
1	227	16 行目	…たとえば，東京低値の液状化予測 ²⁶⁾ では…	…たとえば，東京 低地 の液状化予測 ²⁶⁾ では…
1	318	21～22 行目	…一般に対象物の数倍程度といわれているが，…	…一般に対象物の 幅 の数倍程度といわれているが，…